総務文教常任委員会

一般会計補正予算

主な内容

クニマス未来館設計違算賠償金	2,102万円	賠償金の一部が確定したことによる補償金収入。
総合行政情報システム管理費	143万円	システムの更新費。
ウインタースポーツ事業費補助金	179万円	スキー教室のリフト代の補助金。
統合型スポーツクラブ事業費補助金	△320万円	クラブ設立が困難な為、減額。

ここが知りたい議論のポイント
平成28年度予算 主な質疑

質問　クニマス未来館設計違算賠償金の内訳は。

答弁　クニマス未来館設計委託料相当額1022万円、外構工事の一部であるパーゴラ4基設置料540万円、法面設置料540万円の2102万円である。

質問　システムの関係でサービスを受けられなくなり、切り替える為の予算との説明だったが、当初の段階では見込むことが出来なかったのか。

答弁　当時は、インターネットと事務部門を分離する想定がされていなかった。今回の分離により、国が指定するウィルス対策を行うが、現在のソフト会社では、変更に伴うサービスを受けられないので切り替えるものである。

質問　子供達には、スキーを始めとしたウインタースポーツの楽しさを知ってもらい、さらにパワーアップを図るためには、この補助金だけでは不十分ではないか。

答弁　リフト代の補助だけでは、不十分である。バス代や貸しスキー等の補助等を新たに検討している。選手育成に関しても、専門的な指導者との連携をしっかりとやっていきたい。

質問　統合型地域スポーツクラブの課題と改善策は。

答弁　クラブマネージャーを有償で雇用しなければならない、という条件の説明が必要だと思う。調査検討委員会を設置しているので、支援策を検討する。

質問　中川・学校支援地域本部の全国表彰へ出席する市民に対して、旅費などの補助がないことは問題である。この案件に限ったことではなく、協力を頂いている市民に対する感謝のあり方を見直すべきではないか。

答弁　市民の皆様の地域・ボランティア活動には大変感謝している。委員の指摘どおりで、反省している。旅費の補助を始めとした補助規程を創ることを早急に検討する。

■地域活動継続への支援を

条例案等の審査

仙北市犯罪被害者等見舞金支給条例制定について

質問　条例の内容と該当となる犯罪被害の内容は。

答弁　金額は、遺族見舞い金が30万円、障害見舞金が10万円となっている。遺族見舞い金は、遺族が2人いれば、2人に分けて支給する。犯罪被害の認定は、刑法が定める罪状により該当となる。

公の施設の指定管理者の指定について

質問　全ての施設の応募団体が１社である。同じ指定管理者が続くことで、サービスの低下につながる恐れもある。その原因は。

答弁　応募者は全て1社で、現在の指定管理団体である。最低限の指定管理料となっていること、施設の利用料等だけで利益を上げる、ということは、いかに民間の経営ノウハウを発揮しても、厳しいことが原因と考えられる。

質問　地元で管理している施設は、他の地域の人は使いにくいという話を聞くが、そのようなことはないか。

答弁　利用が重複する場合には、数多く使われている団体に遠慮していただくこともある。いろいろな方に利用頂き、その施設がどういうところかを見てもらえるよう、心掛けている。

市民福祉常任委員会

一般会計補正予算

主な内容

地域密着型サービス施設等整備事業費補助金	△3,200万円

本年度開設予定だった事業所の申請取り下げによる減額。

介護施設開設準備経費等支援事業費補助金	△558万円

本年度開設予定だった事業所の申請取り下げによる減額。

放課後児童対策事業費	17万円

角館児童クラブを利用する１年生の冬期間の移動の際、スマイルバスを利用する経費。

主な質疑

質問　**１年生がスマイルバスを利用するとの事だが、安全性を考慮し、児童クラブを利用する児童を同じバスでピストン運行する事は考えられないか。**

答弁　冬期間は特に集団に不慣れな１年生の分を補正計上した。１年生の登録人数は33人で、1日平均利用は23人くらいとなっており、スマイルバスでも可能と考えた。今回は、八割線と下延線の定期運行便に丁度良い時間帯のバスがあり、それを利用したいと考え、ピストン運行の件は考えなかった。角館児童クラブは約80人利用しており、中でも1年生の利用が一番多い点も考慮している。

■角館児童クラブへ通う1年生が利用するスマイルバス

質問　**子育て支援の観点から、市のバスの利用や他の運行手段等を検討するべきではないか。**

答弁　市のバスを利用出来れば一番良いが、放課後児童クラブは通常日で月曜から金曜まで毎日同じ時間帯に開いているため、予約などの兼ね合いから借りるのは難しいと考える。また、80人くらいいる子ども達を一斉に移動させるとなると、大型バスを契約しなければならず、今回の補正では考えなかった。ただ、バス会社との契約は財政面もあり、今すぐとは言えないが、今後の方向として協議していきたい。

質問　**バスの検討をするという事だが、1年生は初めてなのでスマイルバスで結構だと思うが、2年生から6年生の集団移動は、教育上の観点からプラスの面があると思う。その辺りを踏まえて検討していただきたい。**

答弁　そういう面もあるが、経費等、詳しく調べ方向付けをしていきたい。

仙北市病院事業の設置等に関する条例の一部を改正する条例制定について

市立角館総合病院が4月に開院する事に伴い、病院の位置、病床数等を改正し、開院日を４月１日とする内容の条例。

主な質疑

質問　**新角館総合病院の特色、セールスポイントはどのように考えているのか。**

答弁　脳神経外科が一つのセールスポイントと思っている。脳血管の専門医は全国的にも少なく空白地域も多いが、仙北市には医師がいるので、その部分での対応は優れたものがある。更に、指導医の資格が取れれば県内唯一の指導医となる事から、病院の特色としてアピールする事が出来る。また、在宅医療の強化も必要になると考える。

■完成間近の新角館総合病院

産業建設常任委員会

一般会計補正予算　主な内容

担い手確保・経営強化支援事業費補助金　177万円

１法人８条田植え機械購入補助。

農業基盤整備促進事業費　5,107万円

畦畔除去や暗渠排水事業を市で行うための事業費。

農業基盤整備促進事業費補助金　△5,040円

畦畔除去や暗渠排水事業を個人で実施できたが、制度が変わって、実施体は市となるための減額。

駐車場管理運営費　41万円

旧角高グランド駐車場に、電気工事をする費用。

観光宣伝・誘客事業費　90万円

台湾からの観光客向けのパンフレット１万部増刷、台湾高雄マラソン・田沢湖マラソン提携に伴う協議のための旅費、通訳、翻訳にかかる費用。

がんばれ合宿応援事業費　60万円

１月から３月にかけて合宿が見込まれるため。

台湾修学旅行誘致促進事業費　20万円

平成26年は51人だったが28年度は100人を超える予定である。34人分の体験受講料である。

道路改良事業費　940万円

市道大沢田子ノ木線の思い出の潟分校近くの急カーブ箇所を局部的に改良する費用。

仙北市地方活力向上地域における固定資産税の不均一課税に関する条例制定

東京23区にある企業が、仙北市に本社機能を移転する場合に、固定資産税を３年間優遇するもの。

主な質疑

質問　①具体的な企業の進出見込みは。②固定資産税の減収分の対応は。③県内の他自治体との比較は。

答弁　①現在、想定する企業はない。県と連携しながら進める。
②国の制度に基づく条例改正であり、全額ではないが普通交付税による補填措置が講じられることになっている。
③３年以降については、市独自の企業立地促進条例を適用することが可能で、10年間免除される。同条件を制定している市町村は県外でも多くないので優遇措置である。

公の施設の指定管理者の指定について

主な質疑

質問　角館駅前の駐輪場使用料を無料としたが対応は。

答弁　管理料は新年度予算に計上する。

質問　花葉館の運営状況は。

答弁　平成25年度は14万８千人ほどだったが27年度は６千人ぐらい減少している。花葉館では、独自にグランドゴルフ場を開設し企業努力をしており、利用者の獲得に努めている。

従業員25名　冬場の営業に努力中!

施設名	指定管理者	期間
田沢湖観光情報センター	(一社)田沢湖観光協会(会長　佐藤和志)	平成29年4月1日～平成34年3月31日
自然ふれあい温泉館	(株)アロマ田沢湖(代表取締役　倉橋典夫)	
角館駅前広場観光振興施設	(一社)角館町観光協会(代表理事　安藤大輔)	
角館西宮家	(株)西宮家(代表取締役　三浦正仁)	
交流促進センター、交流滞在施設等	(株)花葉館(代表取締役　高橋義男)	
都市農村交流施設	(株)アロマ田沢湖(代表取締役　倉橋典夫)	
田沢湖キャンプ場	(有)田沢湖自然体験センター(代表取締役　佐藤裕之)	
角館中心市街地活性化支援センター	仙北市商工会(会長　堺　研太郎)	